かしこく　やさしく　たくましく　　国際感覚を身に付け，確かな学力と人間性を備えた児童生徒の育成

めざせ！南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学 校 便 り
令和６年　１０月号
ヨハネスブルグ日本人学校

ヨハネスブルグ日本人学校は、「エコスクール」になりました！

昨年度 7 月に、運営委員会の判断、さらに日本人会理事会でのご承認を頂き、ソーラーパネル(14 枚)及びインバータ、バッテリー3 基を設置しました。昨年度末までの度重なるロードシェディングに備える設備として、子供たちの学校生活に影響を及ぼさないよう整備したものです。これらの設備を生かし、現在、先月 9 月より、いわゆる「オフグリッド」に挑戦中です。オフグリッドとは、南アのエスコムなどの電力会社の公共インフラに頼らず、自給自足で電力を賄い、学校生活や家庭生活を維持する形態です。曇りの日であっても、ソーラーパネルによって、20～30 キロワットを発電し、なおかつバッテリーを常時フル充電できる状態となっています。システム導入にかかった費用は高額でしたが、今後、長い期間にわたって、電気代の大きな節約につながることを期待しています。

日本では、ソーラーパネルを導入した学校の事例が多くあります。太陽光発電を導入し、発電量や二酸化炭素削減量を表示するモニターを校内に設置していたり、災害時に避難所として活用する取組を行ったりしています。これらの学校は、国内では、「エコスクール」と呼ばれています。もともと、「エコスクール」とは、平成 9 年より文部科学省が中心となって取り組んだ環境面を考慮した学校施設のことを指すようになりました。

また、起こる可能性は低いと思われますが、万が一のブラックアウト(大規模停電)に備え、日本人学校が日本人会会員の皆様の災害時の避難所の一つとして機能できると期待しています。加えて、ヨハネスブルグ市内全体で、漏水や断水が多発する問題もあるため、子供たちが毎日利用する飲料水に加え、備蓄分を増やしています。

今後、ヨハネスブルグ日本人学校では、南アの太陽光を得られやすい環境を生かし、化石燃料を使わない再生可能エネルギーを使用していることを大切にしていきたいと考えます。この状況を踏まえ、地球環境について子供たち自身が考え、学校が環境教育の発信拠点となるよう活動を進めていきます。

Greenside Primary School との交流の一コマ

今後とも、子供たちの学習環境の充実のため、保護者の皆様、日本人会の皆様のご理解、ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。